

営農ウィークリーNEWS

向島地域特産レタス

出荷最盛期



向島支店管内の「レタス」が出荷最盛期を迎えています。
向島地域のレタスは、**強酸性水**を利用した減農薬栽培で育てられ、安心・安全な高品質のレタスを消費者に届けられています。
レタスは早朝より収穫し、その日のうちに市場へ出荷され、現在最盛期を迎えています。
今年は暖冬の影響もあり、出荷も早まりましたが、出荷は5月中旬まで続きます。出荷は「向島野菜出荷研究部」のメンバーで、京都南部青果株式会社を通じて京都生協を中心に1万4千ケースの出荷を見込んでいます。
向島地域ではレタスの他に、水稻の作付けを中心に**サニーレタス**や**えびいも**、**ナス**、**キャベツ**の栽培も盛んで花き類などの地域特産物も多くあります。

♪ 茶の収穫時期間近 ♪

—TAC information () () () 

向島地域で新茶が収穫期を迎えています。
写真は甜茶（てんちゃ）栽培圃場です。
茶は、苦み成分のもとであるタンニンの生成を抑えるため、収穫1か月前に被覆資材で茶園全体を覆います。
5月～6月は、茶生産農家にとって、最も忙しい時期となります。

JA京都中央 平成28年5月2日
No.291 作成者 島 裕加里



関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

◇

発生予察注意報第1号

**ネギ及びキャベツでネギアザミウマが多発しています。
本種が媒介するネギえそ条斑病の発生にも注意が必要です。**

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 1 作物名 | ネギ・キャベツ |
| 2 病虫害名 | ネギアザミウマ・ネギえそ条斑病 |
| 3 発生地域 | 山城・南丹地域 |
| 4 発生量 | ネギアザミウマ 平年比やや多い ネギえそ条斑病 多い |

5 注意報発令の根拠

- (1) 4月第3半旬の巡回調査で、山城地域のネギでのネギアザミウマによる被害株率及び被害度は、過去10年と比較して最も高く、発生量は平年比多い(表1)。
- (2) 同時期のキャベツで、本種による被害株率が高い(表2)。

表1 ネギでのネギアザミウマ発生状況(山城地域 25株/ほ場調査)

| 項目\年次 | 本 年 | 前 年 | 平年値 |
|----------|------|------|------|
| 被害株率(%) | 96.3 | 36.0 | 14.9 |
| 被害度※ | 28.4 | 9.6 | 4.0 |
| 発生ほ場率(%) | 100 | 100 | 53.8 |

$$\text{※ 被害度} = \frac{4A + 3B + 2C + D}{\text{調査株数} \times 4} \times 100$$

被害程度A: 1株の51%~100%の葉に被害が認められる。
被害程度B: 1株の31%~50%の葉に被害が認められる。
被害程度C: 1株の11%~30%の葉に被害が認められる。
被害程度D: 1株の1%~10%の葉に被害が認められる。
被害程度E: 被害なし

表2 キャベツでのネギアザミウマ発生状況(山城地域 25株/ほ場調査)

| 項目\年次 | 本 年 | 前 年 | 26 年 | 25 年 |
|---------|------|------|------|------|
| 被害株率(%) | 92.0 | 10.0 | 34.0 | 42.7 |